

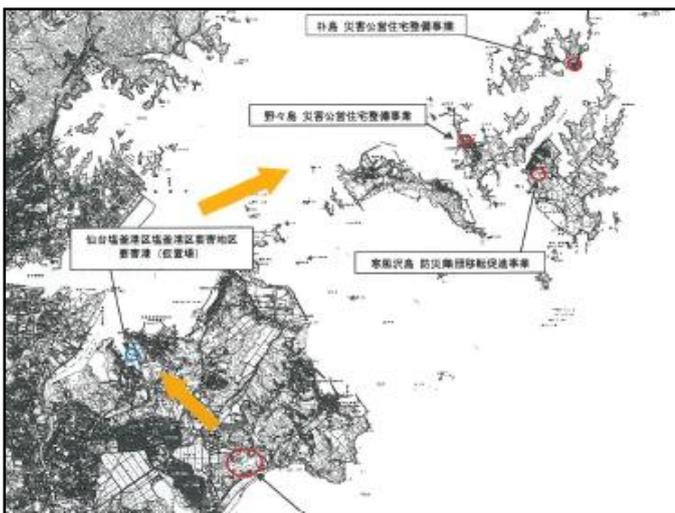


仙台塩釜港復興だより 第12号 — 港湾は人の心も結んでいます —

建設発生土利用に係る県内初の自治体間協定が結ばれました！



○固く握手を交わす各首長達（左から、鷲巣所長（仙台土木事務所）、渡邊町長（七ヶ浜町）、佐藤市長（塩竈市）、大瀧所長（仙台塩釜港湾事務所）



○七ヶ浜町から塩竈市までの建設発生土の流れ

平成25年10月9日、東日本大震災の復興事業で発生した建設発生土の有効活用を目的とし、七ヶ浜町、塩竈市、仙台土木事務所、仙台塩釜港湾事務所の4団体間で協定を締結しました。

この協定は、七ヶ浜町の花淵浜篠山地区の防災集団移転促進事業で発生する約4万㎡の建設発生土を、仙台塩釜港塩釜港区要害地区に陸送後、塩釜港区東宮岸壁から浦戸諸島の寒風沢島、野々島、朴島に船で運び、塩竈市における諸島の盛り土や災害公営住宅の敷地整備等に使用されるもので、このような、自治体間での協定締結は県内で初めてとなります。

今後とも関係自治体と連携しながら一日も早い地域の復旧・復興に尽力して参ります。

仙台塩釜港の災害復旧工事は、鋭意復旧・復興に向け取り組んでいます。現在行っている工事は、概ね平成25年度末に完了する予定です。

仙台・塩釜・松島の各港区で行っている一部の復旧工事の状況についてご紹介します。

仙台塩釜港（仙台港区）の災害復旧状況

中央公園と面している雷神護岸は、震災により護岸の沈下や変位が発生し、大部分が津波により流出しました。復旧工事では、流出部に直立消波ブロックを新設し、変位部においては撤去・再設置を行い工事を進めています。

【雷神護岸】



(直立消波ブロック据付状況)



(直立消波ブロック据付完了状況)

仙台塩釜港（塩釜港区）の災害復旧状況

岸壁を供用しながらの工事であるため、港湾利用者と調整を図りながら施工を行っています。

【貞山ふ頭4号さん橋】



(さん橋嵩上げ状況)



(部分完成状況)

【中ふ頭前面護岸】



(護岸本体部 鋼管矢板打設状況)



仙台塩釜港（松島港区）の災害復旧状況

導流堤が完成し、その他物揚場や防波堤などの施設も完成し始めています。

[東浜～翁島導流堤]



(着手前)



(完成)

H25年度仙台港視察セミナーが実施されました



○45ftコンテナの大きさを実感！

多くの事業者の方々に仙台港を体験していただく機会として、仙台国際貿易港整備利用促進協議会などの主催による「仙台国際貿易港体験・視察セミナー」が9月19日に開催されました。

当日は、物流拠点である仙台港からの陸送を担う運送会社を中心に約40社の参加があり、大型客船「飛鳥II」の入港イベントやタグボートによるデモンストレーションの見学、仙台港の目玉ともいえる高砂コンテナヤードの作業状況、コンテナの大きさ体感するなど、活力ある仙台港を感じていただける良い機会になったかと思えます。



○飛鳥II出港中です。



○タグボートが大型船の入出港のお手伝いをします！

向洋海浜公園の利用について

向洋海浜公園については、今年6月の駐車場全面復旧以降、週末を中心に多くの方に利用していただいております。特に、地域のサーフショップを主催者としたサーフィン大会がほぼ毎週開催され、活気に満ちております。

このように多くの利用があるにもかかわらず、駐車場に付帯する公衆トイレについては、地域のサーフショップの有志連合である「仙台サーフショップユニオン」が中心となって日々清掃活動をしていただいているおかげで、清潔な状態が保たれております。

しかし、一部の心ない利用者による水道やトイレトイレットペーパーの無駄遣いが問題となっておりました。

このような中、7月21日に開催されたサーフィン大会（大会名：仙台新港マスターズ大会）の収益金の

一部を寄贈（トイレットペーパー1,000個）していただき、当面のトイレットペーパーの不足が解消されました。

向洋海浜公園については、このような心あるご支援によって維持管理なされていることをご理解いただき、地域に根ざした海浜公園となるよう、引き続き皆様の心あるご利用をお願いいたします。



「自衛艦 in 仙台港」が開催されました！

自衛隊宮城地域協力本部主催で毎年開催されている自衛艦や自衛隊装備品等の一般公開が7月20日、21日の2日間、高松ふ頭で開催されました。

今回入港したのは、イージス艦「みょうこう」で、高性能なレーダーを持ち、数多くの目標に対して同時に対応することができるイージスシステムを搭載した艦艇でした。

両日ともイージス艦の体験乗船には長蛇の列ができるほど多くの来場者で賑わい、訪れた方々は間近でみる艦艇の力強さ、迫りに圧倒されている様子でした。

普段は、東北の物流拠点港として、多くの運送関係者が出入りしている仙台港ですが、この日ばかりは、多くの家族連れで賑わい、仙台港に親近感を持ってもらえた一日になったと思います。



編集事務局

宮城県仙台塩釜港湾事務所 編集委員

〒983-0001

仙台市宮城野区港三丁目1-3 アクセル5階

TEL 022-254-3132

FAX 022-254-3136

E-mail: sdsgkowns@pref.miyagi.jp